

平成 24 年 5 月 7 日

財団法人 熊本放送文化振興事業団
理事長 小堀富雄 様

菊池川自然塾主宰
富田克敏

菊池川自然塾平成 23 年度実績報告書

1. 団体名

菊池川自然塾

2. 事業実施場所

山鹿市鹿本町 水辺の学習館「ゆめほたる」

菊池川流域自然観察場所；菊池川中川橋付近

鹿北町 4 丁,岩野,多久と菊鹿町日渡の石橋

菊鹿町矢谷溪谷から八方ヶ岳山頂

鹿央町久野,千田,水原,植木町清水地区(千田川流域)

七城町梶迫,板井,前川地区

菊池市馬見野 観音岳

鹿央町岩原,谷川,米野地区(岩原川流域)

3. 実施期間・実施日

平成 23 年 7 月から平成 24 年 3 月までの間以下の日程で実施

平成 23 年 7 月 31 日(日)(9:00~16:00)

8 月 7 日(日)(13:00~16:00)

9 月 11 日(日)(9:30~15:30)

10 月 30 日(日) (15:00~20:30)

11 月 23 日(勤労感謝の日)(10:00~17:00)

11 月 27 日(日)(9:00~15:30)

12 月 4 日(日)(9:00~15:30)

平成 24 年 1 月 22 日(日)(9:00~15:00)

2 月 26 日(日)(9:00~15:30)

3 月 4 日(日)(9:30~15:30)

3 月 18 日(日)(9:00~12:00)

4. 実施内容

活動の概要

菊池川自然塾は、菊池川流域やそこに関わる地域で 育まれている若者が自らを育てている自然を具体的に体験・理解して、自然の摂理をより深く学ぶことを目指している。活動は野外での自

然観察会を基本とし、観察結果を野外および屋内教室で整理し、その中で生まれた疑問点を、学校で学んだ理科や社会科の知識をもとに講師と共に解決をはかる学習会が中心である。この学習会で解決しない疑問は研究課題として継続的に研究している。この自然塾が「若者が集い、切磋琢磨する場」となることを期待している。

平成 23 年度実施内容

自然観察・学習コース

観察の基礎コース(小・中学生の「自由研究」にも役立つ観察方法の基礎学習)

中川橋付近の砂の観察(7月31日実施) 参加26名(小学生6、中学生17)

中川橋付近の水生昆虫の観察(8月7日実施) 参加47名(小学生25、中学生10)

中川橋付近の春の植物観察(平成24年3月15日実施)参加8名(小学生4)

観察・調査学習コース(21,22年度からの継続的なテーマによる観察・調査学習)

テーマ；菊池川流域の湧水地の観察調査(菊池川流域の湧き水地の分布とその要因、およびそこでの生き物を調べる)

千田川流域(鹿央町久野,千田,水原地区など)の湧き水地を観察調査(12月4日実施)

岩原川流域(鹿央町岩原,谷川,米野地区)の湧き水地を観察調査(平成24年3月4日実施)

参加 延19名(内小学生4名)

特別テーマについての学習

豊富な隕石実物の観察と、「星と隕石」について、熊大,磯部博志准教授を講師に勉強した。(10月30日実施) 参加28名(内小学生9、中学生2、高校生1)

特別企画学習(著名な先輩科学者を招聘して、学習と交流を行う)

特別招聘講師:川那辺 浩哉氏(京大名誉教授)を招いて

「川の魚の生活 - その不思議さとおもしろさ」について学習と菊池川の魚の観察を実施し、川那部氏と親しく交流した。(11月23日実施)参加47名(内小学生10)

公開自然観察・学習会(菊池川流域の優れた自然と人々の暮らしを観察・学習する)

石造めがね橋(鹿北町4丁,岩野,多久と菊鹿町日渡)の観察学習(9月11日実施)

参加 15名(内小学生4)；

八方ヶ岳山麓の植物群の観察(11月27日実施)

参加16名(内小学生3名)

菊池市七城町で阿蘇3火砕流堆積層と阿蘇4火砕流堆積層の間に堆積した湖成層と湧き水観察(24年1月22日実施)

参加18名(内小学生2、高校生1)

菊池市馬見野の観音岳で約5千万年前の貝化石採集と石炭層観察(24年2月26日実施)

参加29名(内小学生11)

5. 24 年度実施に向けて(反省と展開)

- 23 年度も小学校高学年、中学校、高校生の参加が少なかった。年間参加申込をした生徒児童は保護者と同伴であった。このことは前年と変わらなかったが、昨年より年間参加申込した人数は若干であるが増加した。4 年目を迎えて、菊池川自然塾が地域に昨年より知られてきた結果と思われるが、目標の 10 名に対して小学生 5 名、保護者 2 名、一般 1 名計 8 名となった。

全体としては、複数回参加者は 37 名、参加総数が 110 名と前進した。これは、菊池川流域の学校の先生方からの勧めの結果であり、今後とも学校との連携を強める必要がある。また、山鹿市域をはじめ、県下に菊池川自然塾の活動が少し知られてきた結果とも思える。更なる広報活動が必要である。

- 生徒児童にとって、楽しく学習できて、内容の理解がよりスムーズに進むようにテーマと、カリキュラム、スケジュール設定を 23 年度に改善したが、更に検討して、問題点を整理し改善する必要がある。
- 参加生徒児童に、驚きと感動を与えることが出来たとは思われるが、「なぜ」をいつも考えて自然を観察する習慣を体得させる目標は、かなり困難であった。子供は本質的に「なぜ」を常に持っているのに、自然に対して「なぜ」が少なくなる傾向を感じる。これについては、今後の自然塾の進めかたに関わる問題であり、今後の検証が必要である。
- 保護者や大人の参加があって、児童生徒の安心感と啓発を促した点は昨年度と変わらない。今後も保護者や一般の方にも興味のあるテーマ設定は重要である。
- 23 年度も大過なく実施できたことは、講師の積極的な指導、と地域の協力支援の結果である。今後も地域との連携協力関係をいっそう強化するよう努力する必要がある。
- 運営資金については、23 年度も講師やサポーターの無償での指導・運営参加に負う結果となった。しかし、今年度は講師の教材研究費を熊本放送文化振興事業団から助成金を頂いた関係で一部支出できたことは前進であった。今後は更に健全な財政運営を進めるために、助成・寄付金がより多く頂けるよう体制の整備と、自然塾活動の有効性をさまざまな場で訴えて行く必要がある。

以上

菊地川自然塾平成23年度事業予算決算書

(平成24年4月10日)

収入の部

科目		予算		決算		摘要
参加費			110,000		83,900	
	通年参加費10名(¥3000/人)	30,000		21,000		7名(¥3,000/人)
	公開観察・学習会90名(4回¥500/人)	45,000		13,900		31名(23名; ¥500/人, 8名; ¥300/人)
	観察・学習コース30名(5回¥500/人)	15,000		23,500		61名(24名; ¥500/人, 37名; ¥300/人)
	特別企画学習会40名(2回 ¥500/人)	20,000		25,500		51名(¥500/人)
寄付金			500,000		430,000	
	九州文化財研究所	200,000		200,000		
	皆上クニ	200,000		100,000		
	富田克敏	100,000		100,000		
	川那部浩哉			30,000		
助成金	熊本放送文化振興財団助成金		100,000		100,000	
前年繰越			41,754		41,754	
収入合計			751,754		655,654	

支出の部

科目		予算		決算		摘要
塾運営費			122,200		80,365	
	テキスト印刷費	64,200		50,760		
	(観察の基礎コース¥80×30部×3回)	7,200		8,400		平均¥80×35部×3回
	(湧水調査学習 ¥50×30部×2回)	3,000		3,000		平均¥50×30部×2回
	(特別学習(¥300×30部×2回)	18,000		14,400		平均240×30部×2回
	(公開観察学習会 ¥300×30部×4回)	36,000		24,960		平均¥208×30部×6回
	教材・実験・調査用具	58,000		29,605		実験器具, 星座セット, 観察魚捕獲費など
講師教材研究費	講師1人当20000円×5名	100,000	100,000	100,000	100,000	
野外交通費			65,000		13,150	
	個人車使用ガソリン代(延15台×1000円)	15,000		13,150		
	レンタカー(川那部氏滞在時)	50,000		0		
特別講師交通費			118,000		88,700	
	特別招聘講師交通費・宿泊費	100,000		70,800		
	県内在住特別講師¥3000×6人	18,000		17,900		¥3,000×延べ5人, ¥2900×1人
講師弁当代			65,000		49,896	
	延65名×¥1000	65,000		35,677		講師・関係者謝礼
				14,219		講師延21人弁当代
傷害保険料			25,440		12,720	
	30名¥1590×16回	25,440		12,720		30名¥1,590×8回
記録費			3,120		0	
	ビデオテープ¥260×12巻	3,120		0		撮影要員確保出来ず
宣伝費			205,000		245,000	
	ポスターA350部×5回	30,000		0		ポスター作成せず
	チラシ1000部×5回	175,000		245,000		チラシ1000部×7回
事務費			28,440		40,627	
	通信費	13,440		28,610		塾参加経験者への案内等
	記録作成	10,000		0		主宰、講師の個人的記録に依存
	その他(印刷ファイルなど)	5,000		12,017		プリンターインク、コピー代など
団体加盟費など			10,000		6,000	菊地川流域連携会議加盟費、会議費
予備費			9,554			
合計			751,754		636,458	
次年度繰越金					19,196	